

| | | | | | | | |
|--------------|--|---|---|------------------------------------|---|-----|----|
| 教科名 | 保健体育 | 学年 | 3 | 教科書 補助教材 等 | 最新高等保健体育（大修館書店） | | |
| 科目名 | 体育 | 単位数 | 3 | | | | |
| 科目の 到達目標 | 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高めるとともに、運動をすることの楽しさや喜びを感じさせ、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通して継続的に運動ができる能力や体力を育てる。 | | | | | | |
| 学期 | 月 | 指導内容 | 主な指導目標 | 予定時数 | 備考 | | |
| 一 学 期 | 4 | スポーツテスト（男女共通） ※50m、1000m、1500mのみ 1単位 <男子> スポーツテスト <女子> スポーツテスト 2単位 3クラス・2クラス3展開（男女共通） ・アーチェリー・バレー ・バスケットボール・サッカー 水泳：6月第2週より7月第1週まで | ○ソフトボール：攻撃側と守備側に分かれ攻守を交代しながら得点を競う。野球型のゲームの特性を理解し、学習段階に応じた作戦を立て、攻撃と守備の連携を生かしたゲームが出来るようにする。 | 12 | 各種目において、社会の変化とスポーツや運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高めかたなどの体育理論について指導する。 | | |
| | 5 | | ○サッカー：相手との攻防の中で手を用いなくてボールを運び、ゴールにシュートして得点することを競う。ゴール型のゲームの特性を理解し、学習段階に応じた作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かしたゲームが出来るようにする。 | 12 | | | |
| | 6 | | ○バレーボール：ネットを挟んでボールを打ち合い得点することを競う。ネット型のゲームの特性を理解し、学習段階に応じた作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かしたゲームが出来るようにする。 | 12 | | | |
| | 7 | | ○アーチェリー：自己の能力に応じて技能を高め、精神的な集中力を養う。また、危険を伴うスポーツの為自己及び周囲の安全に対して認識を持つ態度を育てる。 | 3 | | | |
| 二 学 期 | 9 | 1単位 <男子> バドミントン <女子> ソフトボール 2単位 3クラス・2クラス3展開（男女共通） ・アーチェリー・テニス ・卓球・バスケットボール ・バレーボール・サッカー | ○テニス：ネットを挟んでラケットでボールを打ち合い得点することを競う。ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや打球に対応した作戦をたて、シングルス及びダブルスのゲームができるようにする。 | 12 | | | |
| | 10 | | ○水泳：自己の能力に応じて運動の技能を高め、速く泳いだり続けて長い距離を泳いだりすることができるようにする。 | 12 | | | |
| | 11 | | ○バスケットボール：相手との攻防の中でボールを運び、ゴールにシュートして得点すること競う。ゴール型のゲームの特性を理解し、学習段階に応じた作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かしたゲームが出来るようにする。 | 12 | | | |
| | 12 | | ○バドミントン：状況に応じたボールや用具の操作とその対応をするためのボールを持たないときの動くことができるようにする。 | 3 | | | |
| 三 学 期 | 1 | 1単位 <男子> ソフトボール <女子> バドミントン 2単位 3クラス・2クラス3展開（男女共通） ・卓球・テニス ・バスケットボール ・バレーボール・サッカー | ○卓球：相手の返球や守備位置などの状況に応じたボール操作や安定した用具の操作によって、相手の陣地に空間を作り出すために、ボールをつないだり打ち返したりできるようにする。 | 12 | | | |
| | 2 | | | 12 | | | |
| | 3 | | | 3 | | | |
| 年間授業 時間数計 | 105 | 1学期 | 39 | 2学期 | 39 | 3学期 | 27 |
| 学習上の留意点 | 集団行動を通して、授業規律と規範意識の向上を図り、安全に合理的に運動を実践させる。 | | | | | | |
| 評価の観点 | | | | 評価方法 | | | |
| 関心・意欲・態度 | 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように自ら進んで計画的に運動しようとする。また個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。 | | | 関心意欲態度・思考判断・運動の技能・知識理解の四観点から評価を行う。 | | | |
| 思考・判断・表現 | 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。 | | | | | | |
| 技能 | 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。 | | | | | | |
| 知識・理解 | 社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。 | | | | | | |